

補助金等交付申請書

① 令和〇年 〇月 〇日

犬山市長

申請者

住所 犬山市大字犬山字東畑 36

② 団体名 犬山神楽保存会

氏名 犬山 太郎

電話 0568-44-0354

補助金等の交付を受けたいので、犬山市補助金等交付規則第4条の規定により次のとおり申請します。

補助金等の名称	民俗文化財保存伝承事業補助金
交付申請額	③ 30,000 円
④ 補助事業等の目的	<input type="checkbox"/> 伝統行事等を保存し、後世に継承するため <input type="checkbox"/> 後継者の育成を図るため <input type="checkbox"/> 用具等の保存修理又は復元新調するため <input type="checkbox"/> 神楽屋形等の保存修理又は復元新調するため
⑤ 補助事業等の内容	施行場所 犬山市民文化会館 事業内容 笛、太鼓、獅子舞の練習 練習日等 8/3、8/17、9/7、9/21 午後7時～午後9時
添付書類	<ul style="list-style-type: none"> ・ 予算額調 ・ 補助金等交付団体の会則

予 算 額 調		
収 入		
区 分	予 算 額	備 考
⑥ 保存会費	⑪ 20,600 円	
市 補 助 金 等	⑩ 30,000	
計	⑨ 50,600	
支 出		
区 分	予 算 額	備 考
⑦ 講師謝礼	20,000 円	5,000×4名
楽譜印刷費	1,000	
練習費	20,000	子供ごほうび代、飲料代
会場使用料	9,600	1,600×6回
計	⑧ 50,600	
収入支出差引残額	⑫ 0	

※ 様式第 1 に添付して下さい。

項目	記入要領	ページ
①年月日	提出年月日を記入。	P 1
② 住所(所在地)	申請者住所を大字・字など省略をしないで記入。	
団体名	前年度提出済の交付調査書に記入された名称を記入。	
氏名	申請者氏名を記入。	
電話	携帯電話など連絡が付きやすい番号を記入。	
③交付申請額	前年度提出済の交付調査書に記入された補助希望額を記入。 <ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成事業は上限3万円 ・伝統行事等に使用される用具等の保存修理事業又は復元新調事業および神楽屋形等の保存修理事業又は復元新調事業は経費の1/3かつ上限50万円 	P 2
④補助事業等の目的	該当する項目に○をつける。	
⑤補助事業等の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成事業の場合は、事業（練習）を行う場所、練習内容、練習日を具体的に記入。 ・修理又は新調事業の場合は、施行理由、業者名、業者所在地、修理箇所、修理方法を具体的に記入。 <p>記入例</p> <p>施行理由 太鼓の皮が破れてしまい、使用できないため修理する。</p> <p>業者 株式会社 犬山 犬山市大字犬山字東畑 36 電話 0568-61-1800</p> <p>修理方法 太鼓の皮の張替え</p>	
⑥収入区分	市補助金等以外の収入項目（申請団体負担金）を記入。 記入例：保存会費や町内負担金など	
⑦支出区分	支出予算の内訳を記入。 <ul style="list-style-type: none"> ・後継者育成事業の場合 <p>記入例：講師謝礼、楽譜印刷費、練習費、会場借上料など</p> <ul style="list-style-type: none"> ・修理・復元新調事業の場合 <p>記入例：太鼓修理</p>	
⑧支出予算額合計	支出予算額の合計を記入。（縦列計算）	
⑨収入予算額合計	⑧支出予算額合計と同額になるように計上。	
⑩収入予算額 （市補助金等）	P1に記入した補助金申請額を記入。	

項目	記入要領	ページ
⑪ 収入予算額 (市補助金等以外の申請団体負担金)	申請団体負担金は⑨収入予算額合計から⑩市補助金等の額を引いた額を記入。 計算例：⑨50,600円－⑩30,000円＝⑪20,600円	P 2
⑫ 収入支出差引 残高	⑨収入予算額合計と⑩収入決算額合計が同額となるため、差引0円になる。	
⑬ 備考	支出区分の内訳について詳細を記入。 練習費記入例：お菓子 × ⇒ ごほうび ○	
書類訂正の仕方	誤りを二重線で訂正し、日付、訂正をした旨、自署を記載。 金額の誤りの場合、訂正は認められないため新たに書類を作成。 俗 4/1 漢字訂正 犬山太郎 例： 民 族 文化	